

平成 29 年度第 2 回高石市介護保険事業等計画推進委員会 会議録

日時：平成 29 年度 7 月 7 日（金）午後 2 時 00 分

場所：高石市役所別館 3 階 会議室 311.312

開会

案件

- 1 第 6 期介護保険事業計画における進捗状況報告について
- 2 介護保険計画における基本指針（案）について
- 3 高石市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画アンケート結果について
- 4 その他

<開会>

【事務局】 それではお時間となりましたので、ただいまより平成 29 年度第 2 回高石市介護保険事業等計画推進委員会を開催いたします。

（配布資料の確認）

【委員長】（委員長あいさつ）

【事務局】 本会議の出席状況についてご報告させていただきます。委員 15 名に対し、11 名の出席となっております。半数以上のご出席をいただいておりますので、高石市介護保険事業計画等推進委員会は成立しておりますことをご報告いたします。

【委員長】 それでは次第に沿って進めてまいります。

案件

- 1 第 6 期介護保険事業計画における進捗状況報告について

【委員長】 それでは 1 つ目の案件「第 6 期介護保険事業計画における進捗状況について」事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】（資料説明）

【委員】 「地域における支え合い、助けあいの推進」の実績で、いきいきサロンの実施、世代間交流、全体の一人暮らし高齢者等個別援助活動事業等が平成 27 年度と比較すると、数的には平成 28 年度は減っています。どのような理由から減っているのでしょうか。

【事務局】 コミュニティカフェへの移行を進めておりますので、コミュニティカフェのほうに徐々に移行しているとご理解をしていただきたいと思います。

【委員長】 いきいきサロン等の参加人数、回数などは減っていますが、コミュニティカフェが平成 27 年度では 22 ヶ所開設、平成 28 年度では 28 ヶ所開設ということになり、そちらのほうの実績数が上がっているので、全体で見ると「地域における支え合い、助け合いの事業」が充実しているといえます。

【委員】ボランティア保険への加入については、1年更新になるのですか。平成27年度実績と28年度実績を比べると減っていますが、ボランティアが減っているのでしょうか。

【事務局】ボランティア保険の中には、年間を通してのボランティア保険と行事ごとの保険があります。年間の保険ではなく、行事ごとの保険への加入が増えております。定期的なボランティアは年間の保険に加入するのですが、行事に単発で参加するボランティアは、行事ごとの保険に加入し、できるだけ費用負担が軽くなるように進めております。

【委員長】概ね第6期計画としては順調に計画通り進んでいるということですのでよろしいでしょうか。最後に事務局よりまとめをお願いします。

【事務局】第6期計画は平成27年度から平成29年度の3か年の計画でございますが、平成30年以降の第7期計画にも事業としてつないでいく部分もあります。今後さらに、在宅、地域包括ケアシステムの構築という形で継続して事業を進めていきたいと思っております。現時点では、目標を順調に行っているというように考えております。

2 介護保険計画における基本指針（案）について

【委員長】続きまして、案件2「介護保険計画における基本指針（案）について」、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】（資料説明）

【委員】地域ケア会議というのは、これまでの実績の報告では比較的専門職のケア会議が主流だったと思います。ですが、今お読みいただいた最後のあたりの地域ケア会議の表現では、地域づくりを目指した地域ケア会議という意味合いが含まれている気がしました。そういった意味からすると、専門職で行う地域ケア会議はもちろん継続していただくとありますが、ケアマネジャーが地域の中で得た情報、地域包括支援センターが得た情報、地域包括支援センターに挙がってくる地域の課題については地域ケア会議で議論されると思います。それを地域の中での議題として少し話合えるような場が今あるのかはわかりませんが、あればそれが住民参加で地域をつくり上げていくということにつながると思います。地域ケア会議のところを今後、より力を入れていただければよいと思います。

【事務局】地域包括ケア会議の総会自体には医師会の先生方にも入っていただいて、専門的な高石市内の集まる会議として、地域の課題を議論することをメインとした会議です。今年度に入ってから事例検討をしていきたいと思いますということで、挙げてきたものについて検討していくということを行い始めたところです。資料にも書き出しておりますが、「我が事・丸ごと」に関する事業を、今後新しく始めることを検討しているのですが、高齢者を中心に障がい者や子育て等も含めながら、地域の課題をもう少し拾い上げて、地域の中で解決していったり、課題を分析していつ

たりするような仕組みをつくっていくことについて、今議論をさせていただいているところです。それについては、まだ事業自体を検討中ではありますが、その中身を固めつつ計画に反映させていけたらと考えているところです。

【委員】 社会保障審議会の介護保険部会から出てくる基本指針がありますが、以前の基本指針ではメインとして高齢者や、高齢者を支えるスタッフや家族でしたが、今回、目についたところとして、「子ども食堂」のことが書かれています。これは幅広く包括的なことを考えていかなければならないということだと思います。第7期介護保険事業計画においても、こういった子どもたちのことも考えながら包括的に考えて議論していく必要があるのでしょうか。

【事務局】 委員からおっしゃっていただいたことについてはありますが、今厚労省では福祉ごとの縦割りを排除することが必要だということです。支援することについて単純に話がシンプルになるのだと理解しています。困りごとを解決するという観点で行っていきますと、高齢者の人権もありますし、居場所づくりという面も考える必要がありますし、それと子ども食堂をつなげたら一緒にやっていけるのではないかと思います。「幅広い視点から取組みを整理した上で記載」というのは、まさにそういったところなのだと思います。分野に関わらず、困りごとを支援していく体制というものを考えさせていただいております。

【事務局】 補足として情報提供になるのですが、現在、認知症カフェやコミュニティカフェなどを進めている中で、認知症カフェを実際に行っている事業所の中で、併設して子ども食堂を自主的に行っているところも2か所ほどございます。そういった形で、地域の居場所づくりの体制が整ってくればよいと考えているところです。

また、地域包括ケア会議のご質問に対しての情報提供になりますが、国の指針にも掲げていますように、個別事例を通して浮かび上がってくる課題が多いであろうということです。地域包括ケア会議の下部組織であるケアマネ部会で事例検討を少しずつ始めさせていただいております。秋ぐらいから本格始動できればという形で、事例を積み上げながら地域の課題を明確にしていくことが必要です。また、生活支援コーディネーターを小学校区に1名ずつ配置するということがこの4月から始まっておりまして、この中で協議会をつくるということにしております。その協議会の中で地域のコミュニティカフェを運営されている世話人の方などを巻き込んで課題に対して話し合っていくためにコーディネーターの中では話し合いをさせていただいております。

【委員】 今のお話で、子ども食堂のことがありましたが、「既存事業も活用しつつ、地域支援事業や市町村の一般財源等を適切に組み合わせ実施することが想定される」ということが書いてあります。今行われているのですが、どれくらいの補助をしているのか教えてください。

【事務局】 コミュニティカフェについては、今のところ立ち上げの際のハード面以外の支援はしておりません。認知症カフェに関しては、ひと月に1万円という補助金の中で活動していただいております。月に2回最低開催ということで、人件費換算ということでお支払いさせていただいております。

【委員】 基本指針を見させていただきつつ、これを盛り込んだ第7期の事業計画をつくっていくという中で、かなりタイトなスケジュールで策定していかなければならないと思います。ぜひとも来年度の4月からの計画ということで、しっかりと頑張っていたきたいと思います。

【委員長】 要介護状態になることの予防ということで、高齢者のボランティアの推進というところがあります。先ほどの説明の中で、かなりの数の方がボランティアをされていることがわかりました。この中の高齢者の方がどれくらいボランティアをされているのか、おおよそで結構ですが教えてください。

【事務局】 はっきりとした数字はわかりませんが、大半が高齢者という区分に入ってくると思います。平成27年度からなのですが、高齢者の方、団塊の世代の方を中心に、まちな便利屋さんという事業が始まってきています。そういった方々がお互いに支え合うということで、年々増えていっております。そういったところに社会福祉協議会として力を入れていきたいと思っております。

【委員長】 ほかにご意見ありませんか。それではご意見がないようですので、次に移らせていただきます。

3 高石市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画アンケート結果（速報）について

【委員長】 それでは「高石市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画アンケート結果（速報）について」事務局より説明をお願いします。

【事務局】（資料説明）

【委員】 これからご報告があると思いますが、「5 地域での活動について」という項目で、かなりここになると無回答が多くなってきます。そこまでは国の質問で答えやすいので無回答が少なかったのでしょうか。地域での活動については、半数くらいが無回答です。項目が理解しづらくて無回答だったのか、それとも何らかの無回答が多い要因があったのでしょうか。集められて何かお気づきになったことはございますか。

【事務局】 その傾向自体についても今後調べていきたいと思っております。前回のアンケート結果にも似たような傾向がありますので、前回のアンケート結果と今回のアンケートの質問の内容がどのような形になっているのかということにつきまして次回の委員会でお示しさせていただきたいと思っております。

【委員長】 ほかにご意見ありませんか。経過につきましては、次回以降にご説明いただくということでよろしいでしょうか。

4 その他

【委員長】 それでは「4 その他」に移ります。事務局から何かございますか。

【事務局】 (資料説明)

【委員長】 事務局にではないのですが、先ほどの説明の基本指針の部分の最後に「人材の確保及び資質の向上」ということで、必要となる介護人材の数等の推計がございました。今の施設整備と併せまして高石市の中で介護人材は足りているのでしょうか。十分あるのか、雇用に苦労されているのかなど、よろしければ委員から教えていただけたらと思います。

【委員】 人材については、今現在うちの事業所でいいますと離職率は低く助かっているところですが、よく聞く話では、離職率が高く求人を出してもなかなかこないということもあります。例えば専門学校や介護の専門職を担うような学校に対しては、人数が減っていると聞いています。実習生の受け入れもさせていただいておりますが、年々実習生の受け入れ人数も減ってきています。求人倍率等はかなり高い率になっています。

【委員】 一般的に高石市がどうかというのはわかりませんが、施設の介護士は足りていると聞きます。しかしながら在宅のヘルパーはかなり厳しいようで、なかなか募集してもこないということをお聞きしております。

【委員】 高石市内における施設の現状なのですが、その前の利用者数の状況や大阪府の状況を踏まえて、全国から比べると大阪の施設は多いと思います。高石市内における市内の現状は全国と比べてどうなのでしょう。

【事務局】 平成29年6月現在の介護保険の施設の入居状況であります。特別養護老人ホームでは、定員数が123人のところ、入居者数は109名です。介護老人保健施設は定員数170人のところ、入居者数165名です。介護療養型医療施設は定員数48名のところ、41名です。認知症高齢者グループホームの定員数63名のところ59名、指定特定施設の定員数459名のところ416名、小規模多機能型居宅介護事業所の定員数79名のところ71名という形でご報告させていただきます。定員数は若干空きがありますが、事業所によりますと、病院への入退院があるため、ある程度余裕は持たせているとのこと。今後の市民ニーズに合わせて、施設の入居者についても課題として推計していきたいと考えているところでございます。

【委員】 歯科医師会の報告をさせていただきます。在宅歯科のケアステーションをつくり、介護診療にいかせていただいております。平成28年5月から平成29年3月までの間に在宅診療の依頼、相談があったのはたった17件です。その内、実際にいったのは15件です。今年度は4月、5月、6月でたった5件です。何とか地域ケアの連携に協力させていただきたいと思っておりますが、実際の患者さんからの依頼は少ないです。これからの団塊の世代の高齢者が増えるということですが、最近80

歳になっても 90 歳になってもみなさんお元気です。歯科医師の先生方はあまり心配しておらず、訪問介護の患者さんが 10 倍に増えたとしても十分連携は保てる状態になっております。依頼がありましたらよろしく願いいたします。

また、医科についても聞きたかったのですが、そういったご資料はございませんか。

【委員長】 医師の往診のほうの実態はどうかということですが、次回以降に情報提供をいただければと思います。

【委員】 認知症の方がよく在宅で生活されています。歯医者さんを探すのに非常に困っているというお話や相談を受けます。そういった方については、歯科にいて機械の前に座るということに対する恐怖があるかもしれません。もしかしたら往診なら可能かもしれません。情報は本当に必要な人に行き届いているかどうか、きちんと今回の計画で行っていただきたいと思います。周知はしていただいているのですか。歯から全身に病気がいくわけですから、周知についてはお願いしたいと思います。

【事務局】 次回、第 3 回目となります本計画推進委員会は、9 月 29 日金曜日に今回と同様の会議室 311、312 で開催させていただきたいと思っております。なお、第 3 回目の議題でございますが現在予定しておりますのは、高石市高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画の素案についてご議論いただきたいと考えております。

【委員長】 それでは以上をもちまして、平成 29 年度第 2 回高石市介護保険事業等計画推進委員会を終了させていただきます。